

授業科目(ナンバリング)	茶道文化IVA(AB401)			担当教員	安部直樹 嶋内麻佐子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
4年間の集大成として、正午の茶事を通し、茶会の基本的な流れを理解し、茶道におけるもてなしを探る。茶事の運営を通して、相手への心遣いや協調性、礼儀作法を学び、今後の社会生活に繋げる。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	茶事の基本を理解し、役割について説明ができる。				レポート	10%	
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題・レポート	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの仲間と協調できる。				授業態度	60%	
多様性理解力	茶事を運営することができる。				正午の茶事への参加	20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
正午の茶事への参加は20%とし、茶事の事前準備や当日の取り組む姿勢から評価する。授業態度については60%とし、稽古への積極性を評価する。レポートは10%とし、ポートフォリオを使用して正午の茶事を終えての感想や気付きから評価する。また、毎回の授業内容をポートフォリオを用いて整理し、個別にフィードバックを行う。							
授業の概要							
<p>グループに分かれて、客を招き、正午の茶事を成功させることを目標とする。各グループで茶事の流れ(寄付き、露地、外待合、懐石料理、炭点前、中立ち、濃茶席、薄茶席)について、グループワークを通して稽古をする。客への案内状の作成や炭の準備も行う。また、点前については茶道文化研究所作成の動画も用いながら、唐物点前や続き点前の概要を理解する。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：桑田 忠親著『茶道の歴史』講談社(1979年) 指定図書：安部 直樹、嶋内 麻佐子、木村 勝彦『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』人間社会学部国際観光学科共同研究(2018年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室での貴重品の取り扱いには自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・茶道文化IVは4年間の集大成でもある。茶道は点前のみが茶道ではない。その中から生まれてくる精神性が、茶の理念でもある。茶会では亭主と客とが協力しあってはじめて「一座建立」の世界を保つことができる。その考え方は一般社会においても同様である。茶道を通して「人と人」「人と物」の関係を学び、人間としての在るべき姿を見つけ出してほしい。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・唐物点前見本	唐物点前の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 70～80 を読み、予習・復習する。
2	・唐物点前稽古①	茶会形式で唐物点前の復習。	唐物点前の特徴について復習する。
3	・唐物点前稽古②	茶会形式で唐物点前の復習。	唐物点前の特徴について復習する。
4	・続き点前見本	続き点前の見本を確認し、概要を理解する。	教科書 pp. 70～93 を読み、予習・復習する。
5	・炭を切る① ・炭点前① ・茶事の作法①	茶事本番用の炭を切る。 炭点前の復習。 茶事の作法について学ぶ。	炭点前の道具の扱い方を予習・復習する。 茶事の役割について予習・復習する。
6	・炭を切る② ・炭点前② ・茶事の作法②	茶事本番用の炭を切る。 炭点前の復習。 茶事の作法について学ぶ。	炭点前の道具の扱い方を予習・復習する。 茶事の役割について予習・復習する。
7	・炭を切る③ ・炭点前③ ・茶事の作法③	茶事本番用の炭を切る。 炭点前の復習。 茶事の作法について学ぶ。	炭点前の道具の扱い方を予習・復習する。 茶事の役割について予習・復習する。
8	・茶事の日程 ・役割決め	茶事の日程・役割を決める。	指定図書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』 pp. 30～70 を読み、予習・復習する。
9	・班別練習①	正午の茶事に向け、班別に練習を行う。	指定図書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』 pp. 30～70 を読み、予習・復習する。
10	・班別練習②	正午の茶事に向け、班別に練習を行う。	指定図書『大学の教養教育における茶道文化の意義に関する研究』 pp. 30～70 を読み、予習・復習する。
11	・茶事の準備①	客迎いの準備を学ぶ。	正午の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
12	・茶事の準備②	客迎いの準備を学ぶ。	正午の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
13	・茶事の準備③	客迎いの準備を学ぶ。	正午の茶事の成功を目指し、班別練習に参加する。
14	・正午の茶事(前日)	客迎いの準備を学ぶ。	各役割の動きについて予習・復習をする。
15	・正午の茶事(本番)	客を招き、正午の茶事を実施する。	各役割の動きについて予習・復習をする。